

家園

字体作者：周 慧琚

第4号



NPO法人 中国帰国者・日中友好の会
〒110-0016 東京都台東区台東 4-23-11
川口工商ビル1階
TEL : 03-3835-9357 FAX : 03-3835-9358
<http://www.ab.auone-net.jp/~jc-yuko>

新春のご挨拶

理事長 池田 澄江

昨年は日本大変な自然災害に遭い、東日本の大地震に、多くの被災者が出ました。災害と闘い、不屈、勇気のある日本人として立派だと思います。私たち帰国者も日本国民と一緒に奮闘し、素晴らしい業績をあげました。

2011年、皆様から、多大なご協力を頂きましたことに、心から感謝を申し上げます。また、我がNPOはより団結して、次の世帯に、日中友好の懸け橋としてきちんと受け継いでいくためにも、微力を果たしたいと思っております。地道な努力には必ず成果につながると信じております。

本年も変わらぬご支援とご鞭撻を頂きますよう宜しくお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

皆様にとって、良い年でありますようにお祈り申し上げます。

目次

★ 新春のご挨拶.....	1
★ 2012 新年会.....	2
★ “配偶者の生活支援問題の解決”の為闘おう！.....	2
★ 日中国交回復40周年、再度の中国訪問団を組織.....	4
★ 梅花香る二月の新年会.....	6
★ 来自「NPO 残留孤児の家」教室の心声.....	7
★ 「中国帰国者・日中友好の会」活動記録.....	8
★ お知らせ・編集後記.....	8

2012 年の新年会

2 月 26 日、東京都台東区産業貿易センターで 2012 年新年会を催しました。300 人余りの帰国者及びご家族が参加しました。また、国会議員及び秘書等と中国大使館参事官等がご臨席されました。と中国残留孤児の国籍取得を支援の会千野誠治事務局長もご出席されました。

残留孤児原告団事務局長清水文雄から開会の挨拶をした後、NPO 池田理事長、中国大使館薛劍参事官、前衆議院議員公明党議長太田昭宏さん、中国残留孤児援護基金常務理事小林悦夫さん、さくら共同法律事務所の河合弘之弁護士等からスピーチをされました。

その後、午後 1:00～午後 4:30 まで、ご来場な皆さんは中華料理を召し上がりながら、NPO 各教室の皆さんが合唱、独唱、日本舞踊、太極拳(扇)等を演技し、中国の二胡等の演奏したものを観賞しました。

新年会は熱い雰囲気の中で成功に幕を閉じました。



为解决「配偶的生活支援」而奋斗

宇都宮孝良

今年原告団和辯護団の主要活動方針、就是要改善、解决“残留孤儿配偶生活支援”问题。当前对配偶的生活支援问题,是最需解决的,但同时也是最不易解决的问题。我们迫切地要求日本政府在孤儿本人去世后必须保障配偶的老后生活。

孤儿的配偶也是战争的受害者,和养父母同样是救助孤儿的恩人,当孤儿回到日本后,配偶们比孤儿更经受了千辛万苦和考验。

我们之所以提出支援和改善配偶的生活待遇,就是因为:

- ◆孤儿本人在没有得到给付金去世的情况下,配偶不能享受给付金的问题;
- ◆孤儿本人在 2008 年 4 月 1 日支援政策实施前去世的情况下,如不符合条件者也不能领取给付金的问题;
- ◆在领取给付金期间,孤儿本人去世时,配偶虽然能继续领取给付金,可是国民年金却得不到,配偶不得不回到“生活保护”的水准上的问题;

要解决以上三点问题需改正法案。只有在国会上修改法案,才能解决问题。

- (一) 2012 年我们原告团和律师团将以解决配偶的支援问题作为活动的总方针,把解决配偶问题放在各项工作的首位,力争在今年有新突破和新进展。
- (二) 在要求解决配偶支援问题的同时,在原告团内部掀起签名活动,并把这一活动扩展到配偶和二、三代中来。
- (三) 要继续做好元 PT 小组和执政的民主党的工作,同时让更多的国会议员对孤儿配偶问题给予同情、理解和支援。
- (四) 配合律师团和原告团加强与日中友好协会、市民联络会的联系,争取广泛的社会支援。只要我们坚持团结、坚持斗争,解决配偶的问题就一定能实现。

配偶者の生活支援問題解決の為闘おう！

本年度の残留孤児原告団」と弁護団はその配偶者の生活改善を支援する事を活動方針としております。即ち配偶者の老後生活の保証を支援するという事です。

現在配偶者が抱えている問題は、必ず解決しなくてはならない問題であると同時に、又、非常に難しい問題でもあります。

我々は、日本政府に孤児自身に先立たれて、生き残った配偶者の老後生活の保証の支援を切に望むものであります。

孤児の配偶者も、戦争という大きな危害を蒙った被害者であり、尚且、養父母と同じく孤児たちを救った一人の恩人でもあるのです。孤児に伴い来日してからの配偶者の生活環境は、孤児本人以上の苦労を味わってきたのです。

この度、日本政府に支援と改善を求める問題点として挙げるものは：

- ◆孤児自身が、給付金発行以前に死亡したため、配偶者もその給付金を受けられないでいるという問題。
- ◆孤児自身が、2008年4月1日支援政策実施前に死亡したため、その配偶者は支援の対象者と見做されず、給付金がうけられないでいるという問題。
- ◆給付金受領期間中に孤児本人が死亡した場合、その配偶者として給付金は続けて受けられるが、死亡した孤児の国民年金額は受給されないために、配偶者の生活水準が満たされないという問題。

上述の三点については、法案の改正によってのみ解決されるものであり、単に厚生省が解決できる問題ではなく、又、民主党だけを頼っても不可能で、国会を通して法案を改正されてこそ、実現できるという非常に大きな問題なのです。

- (一) 2012年、我ら原告団と弁護団は、配偶者の支援問題を本年度の活動の総方針とし、各要求項目内での第一位として本年度内に、この難題を突破させると共に新しい進展を獲得すべく奮闘する覚悟です。
- (二) 配偶者支援問題の解決を訴えると同時に、原告団内部においても署名運動を開始し、この活動を配偶者と二、三世中に拡大させます。
- (三) 引き続き元PTグループと現在執政の民主党への交渉を行うと同時に、国会議員への要請を働きかけ、更に多くの国会議員の方々に配偶者の支援問題に対しての同情と御理解を得られるよう努力します。
- (四) 日中協会を代表とする市民連絡会は、配偶者の問題の解決に関して、原告団と弁護士団に協力して、積極的に支援活動を行います。

帰国者の皆さん！ 今後より一層固く団結し、闘い抜けば、配偶者の支援問題は、必ずや困難に打ち勝ち、実現すると信じています。

(翻訳：林 満子)

庆祝日中邦交正常化 40 周年再次组团访问中国

河村 忠志

当我们步入 2012 年之际，同时也迎来了日中邦交正常化 40 周年。日中双方都将以此为契机，促进两国关系持续、稳定、健康地向前发展。

NP0「中国归国者・日中友好之会」是以战后遗留在中国的日本孤儿为主体的 NP0 法人组织，为日中友好事业架桥梁，我们义不容辞，责无旁贷；加强两国国民友好交流的优势更是得天独厚。为此，我们一定抓住这一有利时机，积极参与今年“日中国民交流友好年”各项活动，为日中友好再作贡献。

我会（在 2009 年 11 月和 2010 年 5 月）曾两次访问中国，在此基础上，年内准备再次组团访问中国，其计划如下：

一、访问团的名称

「中国归国者日中友好访问团」

二、访问目的地和内容

1. 北京・访问“中国人民对外友好协会”、“中国日本友好协会”，并热切地期盼受到中央领导的接见。
2. 四川省眉山市・访问始建镇“中日友好太山村小学”，举行联欢活动，并再次捐助学校的建设。
3. 哈尔滨・访问哈尔滨市「日本遗孤养父母联谊会」和「中国红十字会」，慰问中国养父母，以及孤儿各自回故乡，为养父母扫墓，开展以上活动。
4. 访问活动之余、顺路在北京和四川旅游观光。

三、访问时间

预定在金秋时节的九、十月份；中国共产党“十八大”召开的前后。

四、访问团人员组成及规模

以曾经残留在中国的日本人孤儿为主，并有配偶和二、三代、还有律师和日本民间友好人士参加。访问团人数限定在 100 人以内。（成员身体状况较好，适应长途旅行者。）



太山村小学校開校式（2010 年 5 月 18 日）

日中国交正常化40周年を祝して 再度“中国訪問団”を組織

この度2012年を迎えると同時に、日中友好正常化40周年を迎えました。

日中両国は共にこれを契機として、両国の関係がより一層安定した健康的な発展を遂げることを願って止みません。

私達“中国帰国者、日中友好の会”は、戦後中国に残された日本孤児を主体としたNPO法人組織であり、日中両国の友好事業の架橋となることは、道理から、己の良心から言っても当然辞せない、又、他人事とは考えられない大きな問題であり：両国国民の友好交流関係、両国人民の友誼はより深厚になりつつあります。私たちは必やこの有利条件を利用して、積極的に本年度の“日中国民友好交流の年”における各種の活動に参加し、日中友好進展の為に貢献したいと願っています。

わが会は、曾て(2009年11月と2010年5月)に二回中国を訪問しており、又、これを基盤として年内に再度訪問団を組成する準備をしております。

計画は、下記の通りです。

一、訪問団の名称：

「中国帰国者日中友好訪問団」

二、訪問の目的地及び内容：

1、北京・“中国人民对外友好協会”、“中国日本友好協会”を訪問。

並びに中央政府側の接見を切に希望して止みません。

2、四川省眉山市・始建鎮“中日友好太山小学校”を訪問し、

交歓会活動を行うと共に、再度本校の建設の費用として支援金を贈呈する。

3、ハルビン・ハルビン市の日本残留孤児の養父母と紅十字会を訪問し、今日尚健在でおられる養父母との会見、及び孤児達は各自帰郷して、亡き養父母の墓参りを行う。

4、訪問活動の余暇に、旅程に合わせて、北京と四川省を観光を行います。

三、訪問時間：

秋季の九月、十月頃、中国共産党“十八届大会”開催の前後。

四、訪問団の規模及び人員組成に関して：

曾て中国に残留した日本孤児を主とし、その配偶者と二世、三世、弁護士と日本民間友好人士の参加もあり得ます。訪問団の参加人数は100人以内に限定されています。

(翻訳：林 満子)

梅开二月恰逢时

张 兢

“不与众芳争绮丽，只为花开二月间”。

日前，由归国者组办的「2012・新春联欢会」正如这花开二月的红梅，绽放出它别样的光彩。

2月26日，对于众多的归国者来说是一个喜庆的日子，更是一个非常重要的日子。一年一度的归国者新年会，在台东区民会馆如期举行。午前，300多名归国者听取了原告团平成23年度活动报告和本年度活动计划，并在会议结束后下午观看了由各区归国者组织的文艺演出。从而将新年会推向了高潮。其中，音乐教室合唱队演唱的「我的故乡」，充分表达了归国者心依祖国河山，足踏东瀛乐土的真挚感情；由安藤明美老师领衔的「太极扇」在一曲铿锵有力的“中国工夫”

音乐伴奏下，舞出了归国者的壮志豪情，赢得了台下阵阵喝采与掌声。

新年会上可谓高手云集，人才辈出。虽然演员们大多年过半百，但“廉颇不老”，舞姿绰约，音韵悠扬。既有高雅的美声唱法，也有字正腔圆的京剧花腔。

乐器班学员娴熟优美的演奏，更是另人耳目一新。整台表演节目尽管自娱自乐的成分较多，却充分表现了归国者人心向上，自强乐观的精神，令人鼓舞和振奋。

大会最后，在日本舞踊能势老师的带领下，大家跳起「炭坑节」，情感激荡，舞姿翩翩，一天的活动完美结束。



音楽教室小合唱

“百花咲き誇る頃にあらずして、只梅の花香る2月”

先だって帰国者が催した「2012年度の新春交歓会」は、おりしも梅の花が綻び、甘い香りを漂わせて春の訪れを告げる風情のなかで開催されました。

2月26日は大勢の帰国者にとって、喜ばしい日であり、非常に重要な一日でした。年に一度の帰国者の新年会で、台東区民会館にて開催されました。午前中、300人を超える帰国者達は、原告団の平成23年度の活動報告と本年度の活動計画の報告を受け、午後は、各地区の帰国者会による文芸が演出され、新年会を盛り上げました。中でも、音楽教室合唱団が披露した「私の故郷」は、帰国者達が祖国の優雅な山河に心を寄せ、東海の大海原の楽園にて、日々を送る楽しさを表現しており；安藤明美先生のご指導の下で演じられた「太極扇」は、優雅な舞姿と中国の奥ゆかしく、又力強い調べを伴って、恰も帰国者の逞しく何事にも屈しない強い意志を表わし、観衆の心情を高ぶらせ、絶えることない喝采と拍手を浴びました。

この演奏会には多くの芸達者な人々が集い、その道の人材は次々とその能力を競いました。又、出演者の大半は、すでに50歳を超えていながら、誰もが若く、その舞い踊る姿は、あまりにも艶やかであり、優雅な歌唱力・伸びやかな調べは人々を魅了させました。

楽器班の学生たちによって演じられた中国京劇の演奏は、その一語一句を力強く、鮮明且まろやかな調べが、和やかに響き渡ると、人々はうっとり耳を傾けて酔いしれたのです。

演奏会は演出者自身が悦に入り、喜びに浸っている部分が多かったのですが、でも十分に参加者たちの心境を高揚させるに足り、自ら努めて前進するという向上心を奮い立たせる事が出来たのではないのでしょうか。

大会の最後には、日本舞踊界の能勢先生を先頭に、参加者全員で日本民謡の「炭坑節」を（ソレ、ヨイヨイ）と舞踊り、会場は一段と盛り上がり、歓声に包まれながら一日を閉じました。

（翻訳：林 満子）

来自「残留孤儿之家」学习教室的心声

王 懷林

在2012年4月新学期开学之前,「家园」第四号即将发行。伴随着拂面而来的春风,我们怀着喜悦的心情,对部分学员进行采访和了解,倾听他们参加各个教室学习的体会和意见。

首先是「日本語教室」的学员:铃木、大久保、岸田等人深有感触,现在我们都是上年岁的人了,回想起不会说日语的时候可真是一言难尽。五十音图都不认识,去商店购物,去医院看病,很是别扭。有时碍于情面就做出懂了的回应,时常出差错,给生活带来很多麻烦,心里真是空虚、苦恼。近年来参加NPO「残留孤儿之家」举办的日语教室,日语水平有了很大进步,与日本人接触和说话时心里踏实多了。大久保女士高兴地告诉我们:在掌握了一些日语后再与老师交流,不断地拓展了知识面,逐渐对日本风俗、社会文化、生活习惯等加深了解,通过上课学习,有了新的收获。

「音乐教室」的学员赤石女士在给「家园」刊物的来稿中兴奋地告诉我们:他们夫妇在中国时就是声乐爱好者。由于工作、家务的忙碌根本没时间学,只限于看看电视、听听CD等方式欣赏各种类型音乐。2009年秋有幸参加了「残留孤儿之家」的音乐教室,可谓如鱼得水。在这里有机会学习声乐的基本知识及乐谱知识,并且经过努力,在声乐上有很大提高。回到中国时,同学和朋友们再听他们的歌都风趣地说:简直是专业水平呀!赤石女士深有感触地说:“对声乐的追求和学习提升生活的情趣和品味”。

在和学员们的交谈中,大家一致反映,是「残留孤儿之家」提供了这样的学习场所和机会,使我们老有所学,老有所乐,丰富了文化生活。



2012年4月、新学期を迎えて、NPO会報『家園』第4号を発刊する時でもある。春のそよ風に吹かれて、我が編集部の皆さんは喜ぶ気持ちを胸にいっぱい、また、教室の皆さんの心身に耳を傾ける機会を頂き、取材しました。

先ず、「日本語教室」を通う鈴木さん、大久保さん、岸田さんからご感想を聞きました。私たちはみんな年ですから、いつも日本語を話せない時を思い出すと言葉で言い尽くせない程辛かった。最初は、五十音図も読めなかった。買い物に行く時、病院に行くとき等、とても恐れていた。何回聞いても分からなくて、恥ずかしくて、最後に分かる振りをして返事をしてしまうことがしばしばあった。生活上にはトラブルを

起こしたり、悩んだりして、心が空虚で大変苦悩でした。最近、NPO「残留孤儿の家」の日本語教室に参加してから、日本語能力が大きく進歩した。日本人と会話をする時自信をもつようになった。大久保さんは嬉しそうに話してくれた:日本語授業を通して、日本語先生との交流の中で、日本語単語を覚えて、日本の風俗、社会文化、生活習慣についてより深く理解することができた。新たな収穫を獲得した。

「音楽教室」の赤石さんと夫婦は嬉しくて語ってくれた:私たち夫婦は中国にいた時から、音楽が大好きで、大変興味深く関心を持っていた。ところが、仕事と家事に忙しくて、普段、テレビを見たり、CDを聞いたりすることしかできなかった。2009年秋から、退職してから、幸運にNPO「残留孤儿の家」の音楽教室に参加して、生活が変わった。魚が水を得たように環境が変わった。NPO音楽教室で、音譜を読むことから発声練習まで基本知識を得る機会を頂き、努力と練習を重ねた上で、音楽レベルが進歩した。中国に帰郷したときに、同級生の友人に言われた:“本当にプロのレベルだね”。赤石さんは感慨深く言った:“歌についての追及と勉強は生活の情趣と品味に充実された”。

皆さんとの交流で、全員が一致した意見は:NPO「残留孤儿の家」のお陰で、帰国者たちに勉強と活動の場と機会を与えてくれて、帰国者たちは老後に勉学があり、老後に愉快である。生活は豊かになった!(翻訳:春 暁)

「NPO法人 中国帰国者・日中友好の会」活動記録 (2011 年 11～2012 年 3 月)

11/23	参加 2011 中日传统文化大型交流会、观看文艺演出。(地点：日本东京银座中央会馆)	東京銀座中央会館で、「2011 中日伝統文化交流会」コンサートを観賞した
12/16	为各教室的老师举办年末慰劳会	NPO 各教室の先生方年末慰労会を催しました
01/10	代表参加中国驻日本国大使馆举办的 2012 年华人华侨新春联谊会	中国駐日本大使館の新春祝うパーティーに参加
01/28	代表参加日中友协新年会	日中友好協会新年会に参加
02/20	与小野寺先生、安原先生一起、到日中友协探讨饺子事业合作事宜	日中友好協会に、餃子販売協議を行いました。(小野寺先生、安原先生)
02/26	2012 年新年会圆满成功、共 300 多人参加	2012 年 NPO 新年会円満に閉幕しました。300 人余り参加された
03/02	参加「GO! 誓いの火春のつどい」(上野公園文化会館)	「GO! 誓いの火・春のつどい」に参加した。(上野公園文化会館)
03/08	出席中国驻日本国大使馆举办的「3・8 妇女节」晚会	中国駐日本大使館の「3・8 婦人ディ祝うパーティー」に参加した
03/12	与河合先生一起到中国残留孤儿援护基金探讨「中国归国者墓地管理」助成金事宜	中国残留孤児援護基金を訪問した。「中国帰国者墓地管理」の助成金を相談した。(河合弘之先生御一緒)

※お知らせ※

春天的赏花会通知

NPO「中国帰国者・日中友好之会」将于 2012 年 4 月 7 日(星期六)，举办樱花赏花会。地点：上野公园内，上午 10 点～下午 3 点。雨天，延期到 4 月 8 日(星期日)。

福島灾区复兴旅行通知

5 月 11 日(星期五)～12 日(星期六)，为支援福島灾区复兴，我会将组织福島县いわき市ハワイアンズ旅行活动。详情，另有通知

欢迎订购中国物产(食品)

为了方便广大归国者购买中国物产(食品)等的需要，本会将经营低于市场价格的业务。如有需要者，具体事项请与本会事務局联系
电话：03-3835-9357

《家園》編集委員 (第 4 号)

白 山 明 徳 ・ 河 村 忠 志
二 田 口 国 博 ・ 富 山 智 夫
春 晓 ・ 王 懷 林
レイアウト・王 莉

編 集 後 記

四月樱花初放，将迎来无限灿烂的风光。第四号会刊「家園」定稿发刊几经努力和与大家见面了！

回首前后会刊编辑有收获・感受；也有欠缺和不足。曾多少松懈就会笔误几处。所以，作为第一任（1～4 号）编辑部，感谢读者们的帮助鼓励，同时诚恳表示歉意。

期待大家对会刊给予指导和支持。